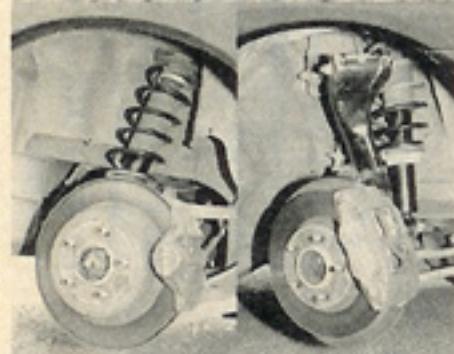
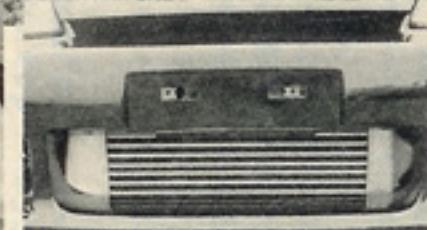


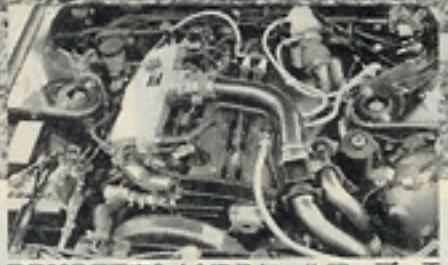
■余白フレゼント情報 来る6月9日F-1SCにて行われる、'91 RCCドライブシリーズ第2戦の競技車両を組み、また、ブレーキパッドはオリジナル（価格 フロント3万2000円、リヤ2万8000円）を装着。



スプリングはノーマルのまま、ダンパーはオリジナル（価格 1台分/19万8000円）を組み。また、ブレーキパッドはオリジナル（価格 フロント3万2000円、リヤ2万8000円）を装着。



エンジンチューンに合わせ、インタークーラーもオリジナルの3層（バイピング75.4 価格 24万8000円）に交換される。



RB20DETを2.4ℓにスケールアップ、T04Sタービン（A/R84）をあごられたエンジンは、264kW、強化バルブスプリング、オリジナルの手曲げステンレスエキマニ（バイブは42.7kg 価格27万円）などによりチューンアップ、1.4kg/kWという最大ブーストがかけられる。



テストステージとなった六甲のワインディングでは、1~2速で燃料が濃いのか、パワーを最大限に発揮することができなかった。

はブースト計の針は動かないくらいで、4000rpmからイフキにブーストがかかり、強烈に加速する。コイツは久しぶりの快感だ！ とアクセルを踏んづける。ところが、1速、2速とも5500rpmでガスが濃すぎて、カブってしまうのだ。3速は6000rpmまで回るが、それ以上は失速する。トライアルでは「スムーズ、まだ完全に燃調とつてませんでした」というが、せっかくテストするなら、ちゃんと走れる状態で試乗しないと意味がない。これ

トライアルオリジナルのフロントバイブルのスチールマフラー、価格は10万4000円だ。

走りの定番、レカロシート（ドライバーズSR301、ナビLS301）にサベルト（ドライバーズのみ）が決まる。



P-ZERO 205/55、225/50-16にリネアスポーツの7J、8J-16をセット。



ノーマル然としたコクピット。が、グローブボックス内には各メーカー類が収まる。

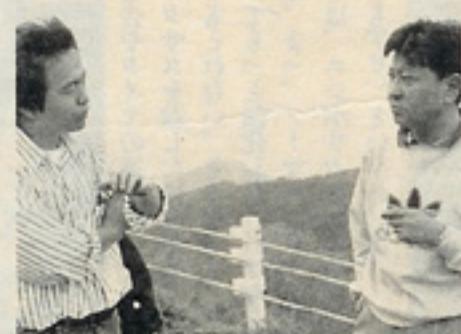
の辺はいずれ、再チェックだ。別に悪気があって言うんじゃないからね。

このフルチューンGTSにして、チエックできたのは、足まわりだ。スプリングはノーマルでダンパーだけオリジナルを組んであり、乗り心地は悪くない。が、ストリートではいいものの、ハードコナリングではトンと跳ねてしまう。スプリングがダンパーの固さに合わないようだ。

ま、エンジンチューンからわかるところは、高速のストリート仕様なので、これでもいい。これも余分なことはしないという予算。や、目的。に絞ったチューンかもしれない。

だいたいチューニングカーティングは、1台、1台みんな違うのだ。だからこそ、自分がどんなチューンをしたいのか、予算とニラメッコしながらショックと相談する必要があるってわけ。トライアルくらいになると、どんなチューンだつてできるはずだ。

(Dai)



岡西ターボチューンの老舗（？）トライアルの牧原社長。Daiと楽しいチューニング計画の話に花が咲く。

#### \*トライアル GTS-t type M

SPECIFICATION [カッコ内はノーマル値]	
チューニングオプション	2.3000万円（ストップ）
エンジン形式	RB20DET
最高出力 (kW)	250
オーバストローク (mm)	81×76
カム	264度
バルブスプリング	強化
フランフ	ノーマル
ガスケット	メタル（m）
ラジエーター	オリジナル加工
インテグラーワーク	オリジナル塗装
オイルクーラー	—
エキゾーストマニホールド	オリジナルステンレス製造 42.7kg
マフラー	オリジナルスチール 80-100φ
正味 車重	1.7t
タービン	T04S A/R84
最高出力 (kW/rpm)	1.4
ウエイストゲート	タイプII
キャブレーション（燃料噴射など）	オリジナルコンピューター
ブースト制御	EVO
メインインジェクター	450cc/min×2本
ブーリグ	BLTZ 8号
ブレーキパッド	オリジナル
クラッチ	GSトリブル
ショック吸収	オリジナル/オリジナル
コイルスプリング	ノーマル/ノーマル
ホイールリム	リニアスポーツ 7J-16/8J-16
タイヤ	P-ZERO 205/55-16/225/50-16
総費用	303万円